

ビルオーナーサミット IN 関西

アイデア経営ノウハウに学べ

論戦速報

熱い論戦が展開される会場内



古く、福岡にてビル経営シンポジウムを行ってきたが、今年4月より、参加者の「同じ目線で話をしたい」という要望のもとビルオーナーサミットという形に衣替えしました。また「道頓堀川に飛び込むのはオナー同土腹を割って話したい」という声に心を配り、ビルオーナークラブという情報交換の場となる組織も同時に立ち上げることになりました。これも、皆様のご支援の賜物です。」と挨拶し開演となり、第一部大阪市計画調整局長の岩本康男氏による特別講演がいよいよ始まった。

特別講演のテーマは都市再生。大阪のキーワードは「水」であり、東京の「緑」とは異なるアイデンティティを構築するということ話があった。大阪においても昭和39年より「緑化100年宣言」を行い、市民と一体となった緑化活動を推進し、現在は当時より公園面積は3倍になり、緑は10倍に上っている。ここに水の回廊が加わって、大阪の活性化につながるという壮大な構想のイメージ画がプロジェクターで写し出され参加者の目を釘付けにした。途中、道頓堀川に飛び込むのは汚いから遠慮してください。今年には阪神と近鉄の次はいつ見れるかわからない大阪対決が実現するかもしれないと小咄を交え、参加者の心を捉えて離さなかった。

「水都のデザインは画期的でした。民間企業も力を併せて都市再生に加われれば、と思います。」(京阪神不動産取締役村田正隆氏)との話も出てきたほど、地元関西地区の人達にとって希望の出る話だったようだ。第一部が幕を閉じ、席を立たず熱心にメモを残す人、トイレに行く人など、それぞれが思い思いの休憩時間を過ごし、ついに第二部、ビルオーナーサミットが始まった。

女性は嗜好がマーケットにおいて重要な部分を占めていることに目を付け、リサーチを行い積極的なコスマ産業を誘致し女性向けビルを作り上げている。パネリストの1番手は千島土地専務取締役の芝川能一氏。不況こそ大きく貸す逆転発想で安定経営を堅持するテーマに話が進められた。同社は所有する私有水面に「フロンティアハウス」を浮かべるなど、水を活かした街造りに積極的に取り組んでいると語り、地域にワンフロア350坪を提供できるビルはないという強みを全面に押し出したことにより、現在は90%稼働率を誇っているという話題を提供した。参加者はフロアリングハウスの役割について熱く語った。現在同エリアのビジネスの中心地としてのイメージが付けられないようなビルの特徴を改めて考えさせられた。

次に登場したトミヤ商店代表取締役社長北村富章氏は他ビルとの差別化について熱く話してくれた。現在同社は、女性の嗜好がマーケットにおいて重要な部分を占めていることに目を付け、リサーチを行い積極的なコスマ産業を誘致し女性向けビルを作り上げている。パネリストの1番手は千島土地専務取締役の芝川能一氏。不況こそ大きく貸す逆転発想で安定経営を堅持するテーマに話が進められた。同社は所有する私有水面に「フロンティアハウス」を浮かべるなど、水を活かした街造りに積極的に取り組んでいると語り、地域にワンフロア350坪を提供できるビルはないという強みを全面に押し出したことにより、現在は90%稼働率を誇っているという話題を提供した。参加者はフロアリングハウスの役割について熱く語った。現在同エリアのビジネスの中心地としてのイメージが付けられないようなビルの特徴を改めて考えさせられた。

「稲垣さんの入居審査時の所在確認をするという話は当社では行っていませんでした。今後は実践してみたいと考えています。」と東京から飛行機で駆けつけた井野興業代表取締役の井野皓代氏は早速、経営手法を取り入れるというコメントを残してくれた。

「ビル自体の強みと地域の強みを組織で発信して、全体の魅力を高めることが今後は重要になってくると思います。」(徳原氏)「組織で懇親を深めれば情報交換ができる」と同時に、行政に対して積極的に意見を言うことができると思っています。(稲垣氏)と各パネリストがビルオーナーサミットの感想を述べ、気温30度を越す外を上回る熱気が冷めやらぬうちに閉幕となった。

席を確保するために参加者は早めに来場

7月10日午後1時、関西地区オーナー待望の「第2回ビルオーナーサミットIN関西」が開催され約200名が大阪国際会議場に集まった。12時30分開場となっていた中で、1時間前から会場に駆けつけ、早めに参加の席を確保する人も多く、地元のオーナー達はこのイベントに対する期待の高さが表れた形となった。

「3年前より、大阪・名古屋、福岡にてビル経営シンポジウムを行ってきたが、今年4月より、参加者の「同じ目線で話をしたい」という要望のもとビルオーナーサミットという形に衣替えしました。また「道頓堀川に飛び込むのはオナー同土腹を割って話したい」という声に心を配り、ビルオーナークラブという情報交換の場となる組織も同時に立ち上げることになりました。これも、皆様のご支援の賜物です。」と挨拶し開演となり、第一部大阪市計画調整局長の岩本康男氏による特別講演がいよいよ始まった。

特別講演のテーマは都市再生。大阪のキーワードは「水」であり、東京の「緑」とは異なるアイデンティティを構築するということ話があった。大阪においても昭和39年より「緑化100年宣言」を行い、市民と一体となった緑化活動を推進し、現在は当時より公園面積は3倍になり、緑は10倍に上っている。ここに水の回廊が加わって、大阪の活性化につながるという壮大な構想のイメージ画がプロジェクターで写し出され参加者の目を釘付けにした。途中、道頓堀川に飛び込むのは汚いから遠慮してください。今年には阪神と近鉄の次はいつ見れるかわからない大阪対決が実現するかもしれないと小咄を交え、参加者の心を捉えて離さなかった。

「水都のデザインは画期的でした。民間企業も力を併せて都市再生に加われれば、と思います。」(京阪神不動産取締役村田正隆氏)との話も出てきたほど、地元関西地区の人達にとって希望の出る話だったようだ。第一部が幕を閉じ、席を立たず熱心にメモを残す人、トイレに行く人など、それぞれが思い思いの休憩時間を過ごし、ついに第二部、ビルオーナーサミットが始まった。

女性は嗜好がマーケットにおいて重要な部分を占めていることに目を付け、リサーチを行い積極的なコスマ産業を誘致し女性向けビルを作り上げている。パネリストの1番手は千島土地専務取締役の芝川能一氏。不況こそ大きく貸す逆転発想で安定経営を堅持するテーマに話が進められた。同社は所有する私有水面に「フロンティアハウス」を浮かべるなど、水を活かした街造りに積極的に取り組んでいると語り、地域にワンフロア350坪を提供できるビルはないという強みを全面に押し出したことにより、現在は90%稼働率を誇っているという話題を提供した。参加者はフロアリングハウスの役割について熱く語った。現在同エリアのビジネスの中心地としてのイメージが付けられないようなビルの特徴を改めて考えさせられた。

次に登場したトミヤ商店代表取締役社長北村富章氏は他ビルとの差別化について熱く話してくれた。現在同社は、女性の嗜好がマーケットにおいて重要な部分を占めていることに目を付け、リサーチを行い積極的なコスマ産業を誘致し女性向けビルを作り上げている。パネリストの1番手は千島土地専務取締役の芝川能一氏。不況こそ大きく貸す逆転発想で安定経営を堅持するテーマに話が進められた。同社は所有する私有水面に「フロンティアハウス」を浮かべるなど、水を活かした街造りに積極的に取り組んでいると語り、地域にワンフロア350坪を提供できるビルはないという強みを全面に押し出したことにより、現在は90%稼働率を誇っているという話題を提供した。参加者はフロアリングハウスの役割について熱く語った。現在同エリアのビジネスの中心地としてのイメージが付けられないようなビルの特徴を改めて考えさせられた。

「稲垣さんの入居審査時の所在確認をするという話は当社では行っていませんでした。今後は実践してみたいと考えています。」と東京から飛行機で駆けつけた井野興業代表取締役の井野皓代氏は早速、経営手法を取り入れるというコメントを残してくれた。

「ビル自体の強みと地域の強みを組織で発信して、全体の魅力を高めることが今後は重要になってくると思います。」(徳原氏)「組織で懇親を深めれば情報交換ができる」と同時に、行政に対して積極的に意見を言うことができると思っています。(稲垣氏)と各パネリストがビルオーナーサミットの感想を述べ、気温30度を越す外を上回る熱気が冷めやらぬうちに閉幕となった。

各オーナーの工夫を取り入れたい



が、オフィス地区として力を有していません。現在、7フロア中1フロアが空室の状態ですが、ビルとして行くべきか悩んでいます。同業者の生の声が聞ければと思います。今回参加しました。ターゲットを絞りファッショ

深い感銘を受けました。大阪は経済を動かす基盤が整っているとお話でした。以前、外国のビジネスマンと接する機会がありました。その時に御堂筋の並木の美しさに感動したと言っていました。企業には重視されない要素ですが、街を形成するビルオーナーに

水都復活は今後のキーワード 積極的なオーナー参加が必要



業界に限らず各業界全体の願いです。今回のサミットは貸ビル業を行う者として街作りはどう貢献できるかを考えさせられる非常に良い経験になりました。特に、徳原氏の「水都復活」というキーワードは将来の大阪を構想する上で大きな指針と

る上で最も期待されるの券サービスという一見すは、ランニングコストをどう抑えて行くかという点です。今日のパネリストに共通していたのは、コスト意識の高さでした。印象的だったのは稲垣氏の内見者へのランチ

参加者の声



当社はビルオーナーの代行業務を進めています。ビルを運営・管理する

ビル事業者のコスト意識を再確認



現在、博多に新物件を建設中なのですが、その1階にどのような業種のテナントを誘致するかと

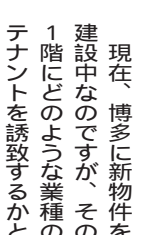
稲垣氏の物件PR話に共感



女性をターゲットにして積極的に女性向けビルを作り出すという話は意外で面白い話でした。礼金ゼロ円は当社も行っていますので、稲垣さんの話は共感できました。特別講演の岩本さんが今後の再開構想と現在の

「稲垣さんの入居審査時の所在確認をするという話は当社では行っていませんでした。今後は実践してみたいと考えています。」と東京から飛行機で駆けつけた井野興業代表取締役の井野皓代氏は早速、経営手法を取り入れるというコメントを残してくれた。

北村氏の話をも今後の参考に



現在、博多に新物件を建設中なのですが、その1階にどのような業種のテナントを誘致するかと

「稲垣さんの入居審査時の所在確認をするという話は当社では行っていませんでした。今後は実践してみたいと考えています。」と東京から飛行機で駆けつけた井野興業代表取締役の井野皓代氏は早速、経営手法を取り入れるというコメントを残してくれた。

岩本氏の講演に感動 環境整備の必要性を痛感



今回の特別講演のテーマ「水都復活」に

岩本氏の講演に感動 環境整備の必要性を痛感



今回の特別講演のテーマ「水都復活」に

